【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公表番号】特表2005-502591(P2005-502591A)
【公表日】平成17年1月27日(2005.1.27)
【年通号数】公開・登録公報2005-004
【出願番号】特願2002-579020(P2002-579020)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｋ　48/00
　Ａ６１Ｋ　35/76
　Ａ６１Ｋ　38/00
　Ａ６１Ｋ　39/02
　Ａ６１Ｋ　39/095
　Ａ６１Ｋ　39/118
　Ａ６１Ｋ　39/12
　Ａ６１Ｋ　39/21
　Ａ６１Ｋ　39/245
　Ａ６１Ｋ　39/29
　Ａ６１Ｐ　 1/16
　Ａ６１Ｐ　31/04
　Ａ６１Ｐ　31/12
　Ａ６１Ｐ　31/18
　Ａ６１Ｐ　31/22
　Ａ６１Ｐ　37/04
　Ａ６１Ｐ　43/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｋ　48/00
　Ａ６１Ｋ　35/76
　Ａ６１Ｋ　39/02
　Ａ６１Ｋ　39/095
　Ａ６１Ｋ　39/118
　Ａ６１Ｋ　39/12
　Ａ６１Ｋ　39/21
　Ａ６１Ｋ　39/245
　Ａ６１Ｋ　39/29
　Ａ６１Ｐ　 1/16
　Ａ６１Ｐ　31/04
　Ａ６１Ｐ　31/12
　Ａ６１Ｐ　31/18
　Ａ６１Ｐ　31/22
　Ａ６１Ｐ　37/04
　Ａ６１Ｐ　43/00　　１２１
　Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成15年10月1日(2003.10.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被験体において免疫応答を生成するための粘膜投与用の医薬の製造における、少なくとも１つの第１の抗原またはその改変形態をコードするポリヌクレオチドを含む第１の複製欠損遺伝子送達ビヒクルの使用であって、該第１の抗原またはその改変形態が、粘膜投与されたとき、該被験体における免疫応答を刺激し得る、使用。
【請求項２】
請求項１に記載の使用であって、前記粘膜投与が鼻腔内投与である、使用。
【請求項３】
請求項１に記載の使用であって、前記粘膜投与が直腸内投与である、使用。
【請求項４】
請求項１に記載の使用であって、前記粘膜投与が膣内投与である、使用。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項に記載の使用であって、前記少なくとも１つの抗原が、性感染病原体に由来する、使用。
【請求項６】
請求項５に記載の使用であって、前記性感染病原体が細菌である、使用。
【請求項７】
請求項６に記載の使用であって、前記細菌が、淋病菌、クラミジアおよび梅毒からなる群より選択される、使用。
【請求項８】
請求項５に記載の使用であって、前記性感染病原体がウイルスである、使用。
【請求項９】
請求項８に記載の使用であって、前記ウイルスが、ＨＩＶ、ＨＢＶ、ＨＳＶ、ＨＣＶ、およびＨＰＶからなる群より選択される、使用。
【請求項１０】
請求項９に記載の使用であって、前記ウイルスがＨＩＶ－１である、使用。
【請求項１１】
請求項１～１０のいずれか１項に記載の使用であって、前記遺伝子送達ビヒクルが、非ウイルスベクターである、使用。
【請求項１２】
請求項１～１０のいずれか１項に記載の使用であって、前記ポリヌクレオチドが、粒状のキャリア上にある、使用。
【請求項１３】
請求項１２に記載の使用であって、前記ポリヌクレオチドが、金粒子またはタングステン粒子上にコーティングされている、使用。
【請求項１４】
請求項１２に記載の使用であって、前記ポリヌクレオチドが、リポソーム調製物中にカプセル化される、使用。
【請求項１５】
請求項１～１０のいずれか１項に記載の使用であって、前記遺伝子送達ビヒクルが、ウイルスベクターである、使用。
【請求項１６】
請求項１５に記載の使用であって、前記ウイルスベクターがレトロウイルスベクターである、使用。
【請求項１７】
請求項１５に記載の使用であって、前記ウイルスベクターがアデノウイルスベクターである、使用。

【請求項１８】
請求項１５に記載の使用であって、前記ウイルスベクターがポックスウイルスベクターである、使用。
【請求項１９】
請求項１５に記載の使用であって、前記ウイルスベクターがピコルナウイルスベクターである、使用。
【請求項２０】
請求項１５に記載の使用であって、前記ウイルスベクターがアルファウイルスベクターである、使用。
【請求項２１】
請求項２０に記載の使用であって、前記アルファウイルスベクターが、シンドビスベクターである、使用。
【請求項２２】
請求項２０に記載の使用であって、前記アルファウイルスベクターが、セムリキ森林ウイルスベクター、ベネズエラウマ脳炎ウイルスベクター、およびロスリバーウイルスベクターからなる群より選択される、使用。
【請求項２３】
請求項２０に記載の使用であって、前記アルファウイルスベクターが、２以上のアルファウイルス由来の配列を含む、使用。
【請求項２４】
請求項１～２３のいずれか１項に記載の使用であって、前記被験体が哺乳動物である、使用。
【請求項２５】
請求項２４に記載の使用であって、前記哺乳動物がヒトである、使用。
【請求項２６】
請求項２０に記載の使用であって、前記アルファウイルスベクターが、抗原提示細胞に送達される、使用。
【請求項２７】
請求項２６に記載の使用であって、前記抗原提示細胞が樹状細胞である、使用。
【請求項２８】
請求項２７に記載の使用であって、前記樹状細胞がヒト樹状細胞である、使用。
【請求項２９】
請求項１～２８のいずれか１項に記載の使用であって、前記標的細胞が、インビボで感染される、使用。
【請求項３０】
請求項１～２９のいずれか１項に記載の使用であって、前記抗原が、ＨＬＡクラスＩ拘束免疫応答を誘発する、使用。
【請求項３１】
請求項３０に記載の使用であって、前記抗原が、ＨＬＡクラスＩＩ拘束免疫応答をさらに誘発する、使用。
【請求項３２】
請求項１～３１のいずれか１項に記載の使用であって、標的細胞に投与する工程の前または後に、クラスＩ　ＭＨＣタンパク質もしくはクラスＩＩ　ＭＨＣタンパク質、またはこれらの組み合わせ、またはＣＤ３、ＩＣＡＭ－１、ＬＦＡ－３、またはそれらのアナログからなる群より選択されるタンパク質のいずれかをコードする核酸分子を、該標的細胞に導入する工程を包含する、使用。
【請求項３３】
請求項１～３２のいずれか１項に記載の使用であって、少なくとも１つの第２の遺伝子送達ビヒクルを投与する工程をさらに包含し、該第２の遺伝子送達ビヒクルが、少なくとも１つの第２の抗原もしくはその改変形態または免疫調節因子をコードするポリヌクレオチ

ドを含む、使用。
【請求項３４】
請求項３３に記載の使用であって、前記第２の遺伝子送達ビヒクルが、粘膜投与される、使用。
【請求項３５】
請求項３３に記載の使用であって、前記第２の遺伝子送達ビヒクルが、非粘膜的に投与される、使用。
【請求項３６】
請求項１～３５のいずれか１項に記載の使用であって、１以上のポリペプチドを前記被験体に投与する工程をさらに包含する、使用。
【請求項３７】
請求項３６に記載の使用であって、前記ポリペプチドが、少なくとも１つの第２の抗原またはその改変形態を含む、使用。
【請求項３８】
請求項３６に記載の使用であって、前記ポリペプチドが、免疫調節因子を含む、使用。
【請求項３９】
請求項３６に記載の使用であって、前記ポリペプチドの少なくとも１つが、粘膜投与される、使用。
【請求項４０】
請求項３６に記載の使用であって、前記ポリペプチドの少なくとも１つが、非粘膜的に投与される、使用。
【請求項４１】
被験体における免疫応答を生成するための組成物であって、該組成物は、少なくとも１つの第１の抗原またはその改変形態をコードするポリヌクレオチドを含む第１の複製欠損遺伝子送達ビヒクルを含み、該第１の抗原またはその改変形態が、粘膜投与されたとき、該被験体における免疫応答を刺激し得る、組成物。
【請求項４２】
請求項４１に記載の組成物であって、鼻腔内投与のために処方される、組成物。
【請求項４３】
請求項４１に記載の組成物であって、直腸内投与のために処方される、組成物。
【請求項４４】
請求項４１に記載の組成物であって、膣内投与のために処方される、組成物。
【請求項４５】
請求項４１～４４のいずれか１項に記載の組成物であって、前記少なくとも１つの抗原が、性感染病原体に由来する、組成物。
【請求項４６】
請求項４５に記載の組成物であって、前記性感染病原体が細菌である、組成物。
【請求項４７】
請求項４６に記載の組成物であって、前記細菌が、淋病菌、クラミジアおよび梅毒からなる群より選択される、組成物。
【請求項４８】
請求項４５に記載の組成物であって、前記性感染病原体がウイルスである、組成物。
【請求項４９】
請求項４８に記載の組成物であって、前記ウイルスが、ＨＩＶ、ＨＢＶ、ＨＳＶ、ＨＣＶ、およびＨＰＶからなる群より選択される、組成物。
【請求項５０】
請求項４９に記載の組成物であって、前記ウイルスがＨＩＶ－１である、組成物。
【請求項５１】
請求項４１～５０のいずれか１項に記載の組成物であって、前記遺伝子送達ビヒクルが、非ウイルスベクターである、組成物。

【請求項５２】
請求項４１～５０のいずれか１項に記載の組成物であって、前記ポリヌクレオチドが、粒状のキャリア上にある、組成物。
【請求項５３】
請求項５２に記載の組成物であって、前記ポリヌクレオチドが、金粒子またはタングステン粒子上にコーティングされている、組成物。
【請求項５４】
請求項５２に記載の組成物であって、前記ポリヌクレオチドが、リポソーム調製物中にカプセル化される、組成物。
【請求項５５】
請求項４１～５０のいずれか１項に記載の組成物であって、前記遺伝子送達ビヒクルが、ウイルスベクターである、組成物。
【請求項５６】
請求項５５に記載の組成物であって、前記ウイルスベクターがレトロウイルスベクターである、組成物。
【請求項５７】
請求項５５に記載の組成物であって、前記ウイルスベクターがアデノウイルスベクターである、組成物。
【請求項５８】
請求項５５に記載の組成物であって、前記ウイルスベクターがポックスウイルスベクターである、組成物。
【請求項５９】
請求項５５に記載の組成物であって、前記ウイルスベクターがピコルナウイルスベクターである、組成物。
【請求項６０】
請求項５５に記載の組成物であって、前記ウイルスベクターがアルファウイルスベクターである、組成物。
【請求項６１】
請求項６０に記載の組成物であって、前記アルファウイルスベクターが、シンドビスベクターである、組成物。
【請求項６２】
請求項６０に記載の組成物であって、前記アルファウイルスベクターが、セムリキ森林ウイルスベクター、ベネズエラウマ脳炎ウイルスベクター、およびロスリバーウイルスベクターからなる群より選択される、組成物。
【請求項６３】
請求項６０に記載の組成物であって、前記アルファウイルスベクターが、２以上のアルファウイルス由来の配列を含む、組成物。
【請求項６４】
請求項４１～６３のいずれか１項に記載の組成物であって、前記被験体が哺乳動物である、組成物。
【請求項６５】
請求項６４に記載の組成物であって、前記哺乳動物がヒトである、組成物。
【請求項６６】
請求項６０に記載の組成物であって、前記アルファウイルスベクターが、抗原提示細胞に送達される、組成物。
【請求項６７】
請求項６６に記載の組成物であって、前記抗原提示細胞が樹状細胞である、組成物。
【請求項６８】
請求項６７に記載の組成物であって、前記樹状細胞がヒト樹状細胞である、組成物。
【請求項６９】

請求項４１～６８のいずれか１項に記載の組成物であって、前記標的細胞が、インビボでの感染される、組成物。
【請求項７０】
請求項４１～６９のいずれか１項に記載の組成物であって、前記抗原が、ＨＬＡクラスＩ拘束免疫応答を誘発する、組成物。
【請求項７１】
請求項７０に記載の組成物であって、前記抗原が、ＨＬＡクラスＩＩ拘束免疫応答をさらに誘発する、組成物。
【請求項７２】
被験体における免疫応答を刺激するためのキットであって、該キットは、以下：
（ａ）請求項４１～７１のいずれか１項に記載の組成物、および
（ｂ）クラスＩ　ＭＨＣタンパク質もしくはクラスＩＩ　ＭＨＣタンパク質、またはこれらの組み合わせ、またはＣＤ３、ＩＣＡＭ－１、ＬＦＡ－３、またはそれらのアナログからなる群より選択されるタンパク質のいずれかをコードする核酸分子を、標的細胞に導入するための、少なくとも１つの遺伝子送達ビヒクル
を備える、キット。
【請求項７３】
請求項７２に記載のキットであって、
（ｃ）少なくとも１つの第２の遺伝子送達ビヒクル
をさらに備え、該第２の遺伝子送達ビヒクルが、少なくとも１つの第２の抗原もしくはその改変形態または免疫調節因子をコードするポリヌクレオチドを含む、キット。
【請求項７４】
請求項７３に記載のキットであって、前記第２の遺伝子送達ビヒクルが、粘膜投与のために処方される、キット。
【請求項７５】
請求項７３に記載のキットであって、前記第２の遺伝子送達ビヒクルが、非粘膜投与のために処方される、キット。
【請求項７６】
請求項７２～７５のいずれか１項に記載のキットであって、
（ｄ）１以上のポリペプチド
をさらに備える、キット。
【請求項７７】
請求項７６に記載のキットであって、前記ポリペプチドが、少なくとも１つの第２の抗原またはその改変形態を含む、キット。
【請求項７８】
請求項７６に記載のキットであって、前記ポリペプチドが、免疫調節因子を含む、キット。
【請求項７９】
請求項７６に記載のキットであって、前記ポリペプチドの少なくとも１つが、粘膜投与のために処方される、キット。
【請求項８０】
請求項７６に記載のキットであって、前記ポリペプチドの少なくとも１つが、非粘膜投与のため処方される、キット。
【請求項８１】
前記アデノウイルスベクターが、αウイルスレプリコン粒子に含まれる、請求項２０に記載の使用。
【請求項８２】
前記アデノウイルスベクターが、αウイルスレプリコン粒子に含まれる、請求項６０に記載の組成物。